

## マナの家 2023 年度提供の放課後等デイサービス評価アンケート集計結果

		チェック項目	○	?	×	ご意見
環境 体制 整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	5	1		
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	5	1		
	③	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	6			
適切 な 支 援 の 提 供	④	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、個別支援計画が作成されているか	6			
	⑤	活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	5	1		
	⑥	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	4	2		
保 護 者 へ の 説 明 等	⑦	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	5	1		
	⑧	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	6			連絡帳で毎日子供の様子がわかり助かります。
	⑨	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	6			
	⑩	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	3	3		
	⑪	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに子どもや保護者に周知・説明し、苦情があつた場合に迅速かつ適切に対応しているか	5	1		
	⑫	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	5	1		
	⑬	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	6			
	⑭	個人情報に十分注意しているか	6			
非 常 時 等 の 対 応	⑮	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	5		1	
	⑯	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	5	1		
満 足 度	⑰	子どもは通所を楽しみにしているか	6			とても楽しく過ごしています。
	⑱	事業所の支援に満足しているか	6			

## 前文

今般のアンケート調査は新型コロナウイルスがII類感染症とされていたことに基づいて行われた感染対策下でのサービス評価となっている。

## 考察

アンケート配布数と回収結果は契約児童家族 20 に配布し 6 家族から回収を射受ける。とても優位の回答数とは言えないが真摯に対応したい。ただ家族のこのアンケートの必要性への疑問の現れとも受け取れる。回答者 6 名の会と結果は上記のとおりとなっている。位置名の方が評価できないとされた項目が⑮緊急時等の対応マニュアルの家族への説明で、これは昨年から義務付けられたマニュアルの整備がやはり説明不足であったことは反省している。今年度中にマニュアルの説明を行いたい。

どちらともいえないという判定が①②⑤⑥⑦⑩⑪⑫⑬⑯となっている。

- ① 活動スペースについては基準以上の指導訓練室を有し、施設が立地している敷地は 1600 坪と広大で自由に体を動かすことのできる広さがあることから、その旨説明してゆきたい。
- ② 職員の資格について運営設置基準は満たしているが資格と専門性については日本の現状も含めてその有用性を保護者には説明してゆく必要があると考えている。私どもマナの家は資格をあまり重視していない。そのことが現在の保護者や地域の評価につながっていると考えている。
- ⑤ 活動プログラムは固定化して行うことに意義があるものと変化を織り交えることに意味のあるもの、また場合がある。それらは国が保育や幼児教育の基礎としている発達論に立って十分な説明をすることができ。こうした点を保護者にも説明し理解を求めてゆきたい。
- ⑥ ここはどちらともいえないという中間評価が 2 名分ついたところであり、実際事実であった。これはコロナ禍により交流が制約されたことによるもので、当法人が学童保育も経営していることからインクルージョンは例年行っている。
- ⑦ 支援の内容について、等事業所はただのお楽しみプログラムになることはほとんどなく、すべて発達支援自立支援の萬光な分析に基づいて行っており十分説明できていなかったとは思えないが、さらに児童発達支援管理責任者に説明の習熟を促したい。
- ⑩ この設問は現状の障害福祉サービスの制度の在り方になじまないと考えている。市場化された中で顧客に相当する利用契約者を事業所が組織するのは利益相反の観点から本末転倒で、中立な立場にある相談支援や自立支援協議会の当事者部会で課題にすべきと考えている。これも保護者に説明してゆかなければならない。
- ⑪ 苦情対応の体制は整備しているのでその説明を再度行ってゆきたい。
- ⑫ 再度振り返りを行って自助努力に注力したい。
- ⑬ これは年間 4 回の火災訓練、津波避難訓練を事業計画に位置づけて行っている。その模様は可能な範囲で Facebook に掲載している。

## 結語

コロナが明けて就学期の児童必要な地域に展開する活動の機会を豊かに提供できるようになった。その分保護者の方には事前にプログラムの趣旨等を十分に説明し理解の上参加していただけるようにと考えている。

また災害対策マニュアルや緊急通報の在り方等は再度チェックしてゆきたいと考えている。

(マナの家施設長:田中哲)